

祝「中山道碓氷峠越」国指定

碓氷関所は、東海道の箱根関所と並ぶ重要な関所と言われながら、なかなか整備が進まなかったため、指定に大変喜んでいました。

当関所は「入鉄砲と出女」の取り締まりなど通行者を苦しめた面もありますが、日本の交通史上、貴重な遺産です。今後は国などと協力し、関所と碓氷峠越・鉄道施設群なども含め、歴史を生かした街づくりを進めてほしいと思います。



碓氷関所保存会
中島 徳造会長

はじめて歩いてみてどうだった？ 市の職員に感想を聞きました



観光課 松本主事

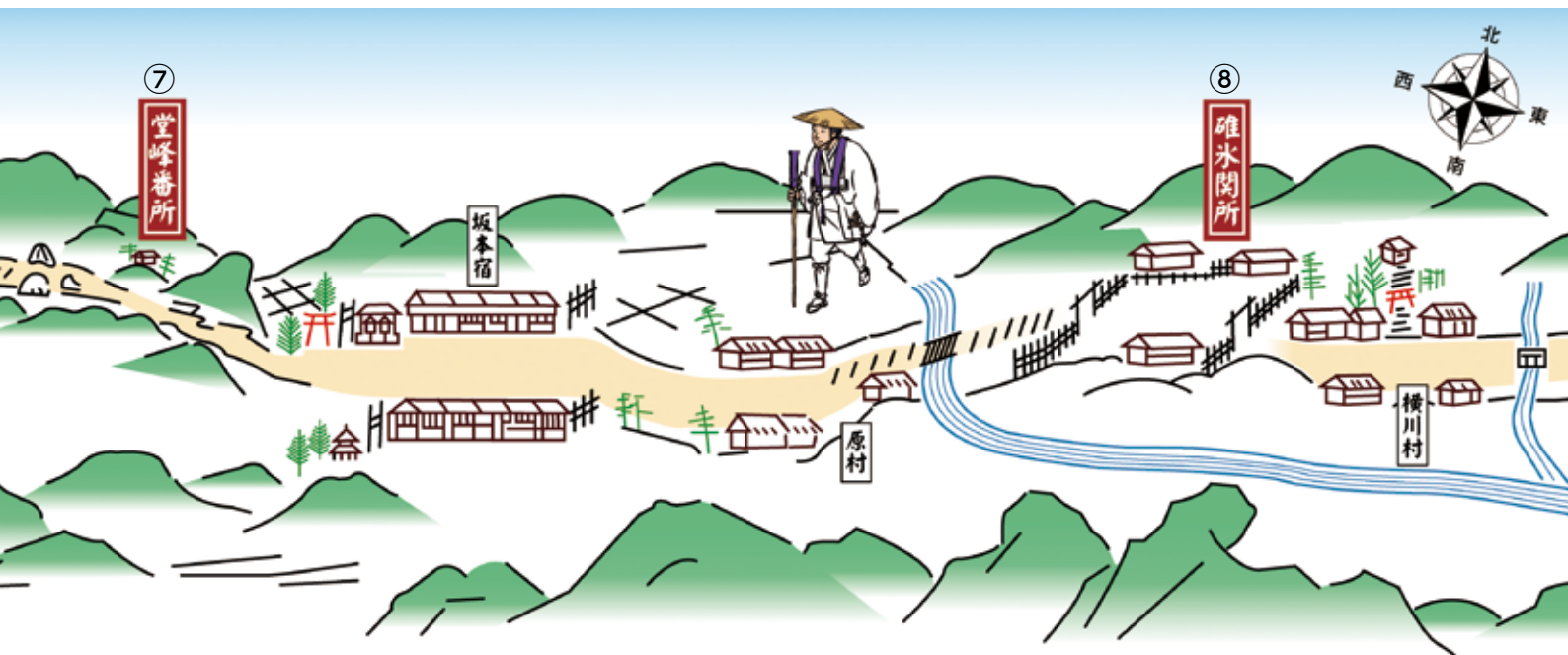
中山道碓氷峠を歩き、自然の美しさと歴史の深さを感じました。静かな山道は心を癒し、先人たちの足跡に思いを馳せる貴重な体験でした。別の季節にまた訪れたいです。

今まで資料でしか知らなかった場所を、実際に歩くことができ良かったです。

自然と歴史を感じることができ、この道が国史跡に追加された、と思うと感慨深くなりました。



文化財課 神澤主事



⑤ 剝石茶屋跡(四軒茶屋)

剝石山の山頂付近にあった4軒の茶屋跡。砂糖餅や餅菓子、茶漬けをふるまったと伝えられます。現在も、当時の石垣などが良く残っています。



⑥ 弘法の井戸

剝石山の山頂手前にある井戸で、剝石茶屋はこの井戸の水を使って営業をしていたと言われます。今もわずかに水が湧き出ています。



⑦ 堂峰番所跡

碓氷関所と同時期に設置されたと言われる見張り所です。関所を通らずに山越えをしようとする「関所破り」を監視しました。屋敷跡や木戸の礎石などが今も残っています。



⑧ 碓氷関所跡

元和9(1623)年設置。関東出入国の関門として、幕府は「入鉄砲と出女」を厳しく監視しました。東西に門があり、西を幕府、東を安中藩が守っていました。

